

介護保険事業計画に記載した「取組と目標」等の取組状況及び自己評価結果等(令和3年度分)

市町村名
高梁市

◎ 市町村介護保険事業計画に記載した「取組と目標」に関する評価等

1 自立支援、介護予防又は重度化防止に関する取組と目標

分類	項目名	目標(数値等)	実施内容・実績	自己評価	課題、今後の方針等
介護予防	地域介護予防活動支援事業	23箇所 421人	ロコモ予防体操を定期的にグループで活動する「元気なからだづくり隊」の活動支援を行った。実績21グループ438人。参加率3.7%(高齢者人口に対して)	講師派遣、体力測定で活動継続支援ができた。全体交流会は新型コロナウイルス拡大防止のため未実施。ケーブルテレビによる「元気なからだづくり隊」を紹介する行政放送を行い周知を図った。 体操参加率(参加実人数/高齢者人口)3.3%(令和2年度末)→3.7%(令和3年度末)で微増。感染症の影響で参加グループは増えなかったが、参加人数は増加した。	第2層生活支援コーディネーターと連携して、活動グループのない地域へのグループ登録を働きかける。
介護予防	地域介護予防活動支援事業	10グループ	「元気なからだづくり隊」の活動を支援するための活動補助を行った。実績7グループ。	施設利用費や衛生材料費の購入補助などを行い、活動継続のための支援を行った。	各グループへ活動補助の周知を図り、活動補助を継続する。
介護予防	介護予防に関するボランティアの育成	体操マスター配置100%(1グループに体操マスター1人以上)	「元気なからだづくり隊」の活動支援を行うボランティア「体操マスター」の養成講座を開催し、6人養成した。計42人となった。	年齢や交通手段の都合で体操マスター不在の体操グループが9箇所ある。	体操マスター配置100%(1グループに体操マスター1人以上)を目標に養成する。プラス10人。 グループ毎に行う体力測定を体操マスターに協力してもらい、役割の再確認を行う。
自立支援	自立支援に関するボランティアの育成	ボランティアサポーター20人	高齢者の在宅生活支援・通いの場のボランティア養成講座(全5回)を実施し、25人が受講申込みされ、16人が全課程を修了した。	新規の取組みであったが、多くの方が受講され、高齢者の自立支援、生活支援の足がかりとなった。	地域を支える担い手の育成のため引き続きボランティア養成講座を開催する。

2 介護給付の適正化に関する取組と目標

分類	項目名	目標(数値等)	実施内容・実績	自己評価	課題、今後の方針等
給付適正化	要介護認定の適正化	2,200件	居宅介護支援事業所や施設に委託した認定調査及び市職員実施の認定調査について、全件を点検した。(実績:2,020件)	市職員の調査についても別の職員が点検することにより、精度を高めている。	引き続き、全件点検を実施する。
給付適正化	ケアプラン点検	50件	適正化システムから抽出したプランのヒアリングを行うとともに、居宅介護支援事業所の実地指導時にケアプランの点検を行った。(実績:176件)	令和2年度に導入した適正化システムを活用することで、点検件数の増加につなげることができた。	引き続き、適正化システムや実地指導の場を活用し、ケアプラン点検を実施する。
給付適正化	住宅改修・福祉用具実態調査	10件	岡山県高齢者在宅生活支援事業補助金を活用する住宅改修について、図面や現場写真、パンフレットなどにより必要性を判断し、完成時に現場で確認を行った。(実績:18件)	対象者の状況を確認し、住宅改修の必要性を判断した。	引き続き、ケアマネと情報共有しながら、適切な給付につなげていく。
給付適正化	医療情報との突合・縦覧点検	全件	岡山県国民健康保険団体連合会への委託により実施した。(実績:全件)	目標を達成し、請求誤り等の是正を図ることができた。(件数:72件)	引き続き、国保連への委託により実施する。
給付適正化	介護給付通知	全件	被保険者に対し、介護保険給付費通知を3月に送付した。(実績:全件)	利用者にサービスの利用状況を知らせることで、介護保険制度の理解を深めてもらった。	引き続き、介護保険給付費通知を実施する。